



**機内エンターテインメントも
プライド月間仕様に!**

JALグループ国際線の機内エンターテインメントプログラムでは、プライド月間にあわせて選定した映像コンテンツを放映中です。女性同士の切なく美しい恋を描いたハリウッド映画『キャロル』、恋愛感情を抱かない“アセクシュアル”を主人公にした邦画『そばかす』など、多様な性のあり方に触れられる6作品をお届けします。ぜひ機内でお楽しみください。

※国内線、および国際線の一部の機材ではプログラムが異なります。また、プログラムは予告なく変更となる場合があります。



「さっぽろレインボープライド2022」にブースを出展。折り紙ヒコーキ教室も実施。



お客さまがSDGsな旅のアイデアを書き込んだふせんで、モザイクアートを作成。

JAL SDGs News

**日本オペレーションズ・
リサーチ学会
「第48回・普及賞」を受賞!**

東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス(東大生研ONG)とJALによる中高生向け教育活動「飛行機ワークショップ」が、日本オペレーションズ・リサーチ(OR)学会「第48回・普及賞」を受賞しました。本賞は、「社会における様々な問題を数学的に解決する科学的手法」であるOR分野の普及に大きな貢献をしたグループ等に対して贈られるものです。一連の内容は以下をご覧ください。

東大生研
ONG STEAM
STREAM



的に実施することで、性的マイノリティの人々が抱える不安を理解し、社員全員が自分ごととして考える意識の醸成も図っています。

**アナウンス変更は
社会への意思表示**

JALグループの機内や空港で長らく使用していた英語アナウンス「Ladies and gentlemen」を「Attention all passengers」などに言い換えているのはお気づきでしょうか? 性別を前提としたアナウンスを廃止し、すべてのお客さまに気持ちよくご搭乗いただくため、2020年10月1日からジェンダーニュートラルな表現に変更しています。この他にも「JAL LGBTQ ALLY

チャーター」の運航(2019年)、福岡や札幌などの地域でのプライドイベントへの参加を通じて、LGBTQを支援する人々「ALLY(アライ)」を増やす後押しをしてきました。こうした一連の活動から、JALは、任意団体「work with Pride」(*)が策定する職場における性的マイノリティに関する評価指標である「PRIDE指標」において、最上位の「ゴールド」を7年連続で受賞しています。

JALグループは一人一人の「ちがいが」が尊重される社会を目指して、誰もが公平に安心して働くことのできる環境づくりに取り組んでまいります。

*性的マイノリティに関するダイバーシティマネジメントの促進と定着を支援する任意団体。



福岡の冷泉公園で開催された「九州レインボープライド2022」にて。

個々の「ちがいが」が尊重される社会を目指して

6月と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか? 夏至、梅雨、ジューンブライド... 国や地域によってイメージはさまざまかと思いますが、近年は6月を「プライド月間」とし、性的マイノリティの人々(LGBTQ)の権利を啓発する活動が活発になってきています。ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)とエクイティ(E)の推進を掲げるJALグループも、この活動に賛同しています。

2014年、JALグループは「ダイバーシティ宣言」を発信しました。これは、性別、年齢、国籍、人種、民族、宗教、社会的身分、障がいの有無、性的指向、性自認、出身会社などの属性によらず、誰もが生き生きと活躍できる会社を目指すというものです。その一環として、言えない・言わない、さまざまな思いや事情を抱えている性的マイノリティの人々の社会的状

況を全社員が理解し、一人一人が「自分らしく」働くことで最大のパフォーマンスを発揮できるように、職場環境の整備や風土づくりに努めてきました。

**JALグループにおける
環境整備**

2017年、JALは同性パートナーシップ制度を導入しました。異性と法律上の結婚をしている社員およびその配偶者と家族に対して適用される福利厚生制度を、同性パートナー登録を行った社員にも適用するというものです。また、実務上支障が生じない場合、今年1月からは戸籍上で性別変更をしないにもかかわらず、自認する性に応じた通称名を職場で使用することが可能となりました。性別にかかわらず利用できるトイレの整備も進めています。アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)への気付きを促す教育・研修を継続

今回のテーマに該当する目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。